

# 東舞子

2018/09/3 (9月号)

神戸市立東舞子小学校

平成30年度学校だより

<http://www.kobe-c.ed.jp/hmi-es>

## 感動し心に残る学校行事を目指して

校長 古池 茂

今夏は台風や大雨、記録的な猛暑などの天候不順により、学校の教育活動にも影響が及びました。特に7月は、暑さ対策に追われる日々が続き、子供たちが普段元気に遊ぶ業間の20分休みは運動場で過ごす時間を制限したり、こまめに水分補給をするよう声掛けをしたり、予定していた夏休みの水泳教室や音楽教室の時間を短縮し下校時刻を早めたりするなど、熱中症対策を子供たちの健康管理に万全を期しました。

また、7月18日(土)に行われた「東舞子夏祭り」では、前日に急遽、青少協、PTAと協議の上、出店の場所をできるだけ日陰になるよう配置換えをしたり、冷房の効いたクラブハウスで盆踊りをしたりするなど、例年とは異なる形での開催となりました。来校した子供たちがお化け屋敷から出て来たとき、「怖かったけど、面白かった」と漏らす声や卒業生、地域の方々から久しぶりに出会う友人と笑顔で楽しげに語り合う様子などから、猛暑の中ではありましたが、伝統ある本校の夏祭りで楽しい夏のひとときを過ごしていただけたのではないかと思います。当日は朝早くからのテント張りや会場づくり、祭りの後の片付けなどをしていただいた青少協、PTA、その他ご協力いただいた多くの方々に深く感謝を申し上げます。

夏休みは、教職員にとって力量を高める時でもあります。私も研修会に多数参加しました。低学年の生活科においては子供たちの思いや願いを大切に寄り添って指導に当たること、3年生以上の総合的な学習の時間では、子供たちの探究心を軸に学習展開を続けていくこと、学校行事の指導においては、子供たちが本気で取り組み感動するものになるよう綿密な計画をすることなど、痛切に感じ再確認をした次第です。また、本校教職員においても、本市教育課程研究協議会の各教科等分科会や所属する研究部の研修等に積極的に参加し、自己研鑽に努めました。本校でも、特別支援教育や2018年度実施の外国語科に備えた研修、1学期の教育活動を振り返る学校評価なども行いました。2学期以降の教育活動にこれらの研修で学んだことを生かし、教育目標「心豊かに自ら学びたくましく生きる子」の達成に努めていきたいと思っております。

2学期が始まりました。9月には5年生の自然学校があり、11月には全校児童による音楽会、6年生の修学旅行などの行事が控えています。これらの学校行事は普段の学習では味わうことのできないものであり、子供たちが卒業して大人になっても心に残るよき思い出となります。私たち教職員も子供たちに感動を与えられる行事になるよう指導していきますので、ご家庭でもお子さんへの励まし・称賛の声掛けをたくさんしていただきますようお願いいたします。

**<お知らせ>** 今年度の学校評議員をご紹介します。隅田雅裕様、伊藤寿浩様、藤原崇様、松下智彦様、奥村紀之様、橋本和明様、辻川雅子様、瀬戸陽子様です。7月28日(土)学校評議員会を行い1学期の学校の取組について報告をし、今後の教育活動についてのご意見をいただきました。トイレのにおいや汚れが気になること、子供たちの荷物についてのご意見などがありました。学校でもそれらの点について検討、改善を図りたいと考えています。その他、学校評議員会の意見等については、学校ホームページに記載していますので、是非ご覧ください。